

予防接種

風しんの予防には、ワクチン接種が最も有効です。妊婦が風しんに感染し赤ちゃんが先天性風疹症候群の障害を持つことのないよう、妊婦とその家族や職場などの周囲の方の予防は特に重要です。

多くの方が予防接種を受けることで、個人が風しんから守られるだけでなく、他の人に風しんをうつすことが少なくなり、社会全体の風しん拡大防止につながります。

◆ 予防接種法に基づく定期予防接種

定期予防接種は「第1期」と「第2期」の2回接種です。

1回の接種で免疫がつくのは95%、2回の接種で99%とされています。2回接種することで、より確実な免疫をつけることができます。

定期接種の対象者

【第1期】 1歳児



【第2期】 小学校入学前1年間の者

定期予防接種については、お住まいの市町村の窓口にお問い合わせください。

風しんワクチン接種率（沖縄県）

「風しんに関する特定感染症予防指針」(平成26年3月28日 厚生労働省告示第122号)では、定期予防接種の第1期・第2期のそれぞれの接種率が95%以上となることを目標としています。

沖縄県のワクチン接種率について、2017年度は第1期と第2期共に、全国平均や目標値の95%を下回っています。

